

高知憲法速報

No.219 2010. 2. 18

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

2月11日「建国記念の日」に反対する集会

今年の「建国記念の日」に反対する集会は高知市人權啓発センターで、2月11日10時から12時まで開き、150人が参加しました。

実行委員長の筒井潤さんは、政権交代後の情勢に触れながら、「韓国併合」から100年の今年、歴史教科書問題、「従軍慰安婦」問題、改悪教育基本法、改憲手続き法など様々な課題を解決していく手掛かりの集会にしたいと開会のあいさつを行いました。

和光大学准教授の道場親信さんが「(戦後史)との対話」と題して講演しました。講演要旨次の通り。

歴史を学ぶことによって、自己と他者の関係を発見することができる。人類学的な発見が近代ヨーロッパの批判者として新しい歴史観を開いた。被害と加害の構造や非対称の力関係も見えなくされていることが多い。「自己責任」「自助努力」はその1例だ。「戦後」の日本史は日本列島の中のみで語られることになり、アジアとどうかかわっていくかが閉ざされた。朝鮮戦争の起源が日本の戦争の終わり方によることを確認しなければならない。「冷戦」が終わって、見えなくされていた「抵抗」の経験やナショナリズムの問題が表に出てき始めた。日本の憲法は1章と2章がセットで作られた歴史的経過がある。日本の武装解除、天皇の戦争責任の封印と米軍による統治は米日の合作だ。中華人民共和国の成立と朝鮮戦争で情勢が変化し、新しい安保体制になった。歴史の史実を学ぶとともに論証し反論していく作業が大切だ。50年代の運動が、政府が「憲法を変える」と言えない遺産を築いてきた。東アジアの民主化の動きと共同して歴史を作っていくかねばならない。

フロア発言として、平和委員会の代表が自衛隊の問題について、県教組代表が教育の現実について短時間の報告をしました。

安保改定50年、「韓国併合」100年と「紀元節」、「国会改革」の問題など、現在の課題に立ち向かう決意を込めた集会アピールを採択して閉会しました。

写真展 イマジン イラク

1997年から80年までエンジニアとしてイラクに滞在した吉原茂さんの写真を中心に、平和だった頃のイラクを伝える写真展が開催されます。

日時; 3月2日(火)~3月7日(日)9:30~19:00

(但し最終日は15時まで)

会場; 高知市民図書館1階ロビー 入場無料

主催; アムネスティ・インターナショナル高知、平和な未来を考える高知の会

共催; 高知県平和委員会、高知県平和運動センター

イラクからの帰還米兵の証言ドキュメンタリー映画「冬の兵士・良心の告発」の上映も行います。

日時; 3月5日(金) 10:30~11:50

3月6日(土) 10:30~11:50

3月7日(日) 10:30~11:50、13:30~14:50

会場; 高知市民図書館 3階視聴覚室

憲法会議街頭宣伝署名 2月19日(金)

月に1度の街頭宣伝署名です。寒い中ですが多数お集まりください。

2月19日(金) 5:30~6:30 帯屋町グリーンロード

2月20日(土)は「こうち九条の会」1:30~2:30

憲法会議個人会員入会のお願い

2月1日総会で個人会員を積極的に確保しようということが確認されました。「入会のお願い」を添付します。印刷したものが準備しますので入会を勧めて年会費ももらってください。

法制局長官欠席でさっそく立ち往生!

「憲法しんぶん速報版」1月22日号より

民主党の政治改革推進本部は1月19日、国会法一部改正法案を補正予算成立後に提出すると決めました。これに先立ち鳩山内閣は、内閣の思い通りに憲法解釈を行う狙いで、通常国会に法制局長官の出席を認めない措置を取っていますが、早速その影響が出ました。21日の衆議院予算委員会で自民党の谷垣氏が、天皇の会見について、憲法に定める国事行為と違い公的行為であるとして、天皇がこれを拒否できるのか、と質問。内閣は立ち往生し、谷垣氏に「法制局長官が従来答弁していたが、議論がスムーズに進まない」と指摘される羽目になりました。